



Press Information

VPR07-001

2007年1月11日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 7年連続「輸入車ブランドNo.1」を達成

ゴルフ シリーズは「輸入車モデル別販売台数」で4年連続首位 1

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)の2006年暦年(1~12)におけるフォルクスワーゲン ブランドの国内新車登録台数(乗用車)が**54,384台**(前年比+2%、純輸入車シェア:22.3%)となり、これにより7年連続で「輸入車ブランドNo.1」を達成しました。さらに、JAIA(日本自動車輸入組合)が11日発表した「輸入車モデル別販売台数」では、「ゴルフ」が23,621台で4年連続して輸入車販売台数No.1になりました。

VGJ 梅野 勉社長は、「2006年はジェッタ、パサート、クロスポロ、イオスなどの新製品で、上級セグメントへの挑戦を開始し、ライフスタイル重視のブランド戦略も手がけた。今年はそれらの製品を着実に育てていくと同時に、まもなく発売する新型「ゴルフGT」に搭載する「TSI」エンジンなどの革新的技術や新製品の投入を継続し、フォルクスワーゲンブランドの魅力にさらに磨きをかけていく」と抱負を述べました。

VGJは、2007年の初売り商品として、フォルクスワーゲン「7年連続輸入車販売 No.1」達成記念とお客様への感謝の気持ちを込めて、お買い得感のある特別限定車を量販 3車種(ポロ、ゴルフ、ゴルフ プラス)に発売しました。併せて3月まで記念キャンペーンを実施するなど、年初からスタートダッシュをかけ、今年も輸入車販売 No.1の座の維持を目指します。

1 JAIA(日本自動車輸入組合)調べ(2006.1-12新車登録実績より)

【2006年:VWの主なトピックス】

販売好調な新規導入モデル

上級セグメントへの本格挑戦を掲げた「ジェッタ」および「パサート」の好調な販売。

「ゴルフGTI」人気、いまだ衰えず!

累計登録約8,400台の「ゴルフGTI」。ゴルフ(ハッチバック)の約3割を占める主力モデルに成長。

また、昨春発売したV6エンジン搭載の「ゴルフR32」も非常に好調。

SUVルックの火付け役となった「クロスポロ」。独特の外観、お洒落で個性的なボディ色など、人気を博す。

365日楽しめるカブリオレ・クーペ「イオス」は、お洒落なライフスタイル重視のお客様から高い支持を受ける。

【2007年:VWの主なトピックス】

「高性能と低燃費」を実現した「TSI」エンジンの日本導入。その第一弾「**ゴルフGT TSI**」は**1月19日に発表**。

これにより、お客様のVWに対する興味を喚起し、ブランドイメージの向上を図りつつ新規顧客の獲得を狙う。

新型車、特別限定車などの導入による販売および販売施策の強化を図り、販売増を狙う。